



小関ゼミ

特産物班

特産物

人口減少

地域の衰退

伝統文化の保全

→特産物を通して地域の活性化はできないか
六次産業化に目を付けた



(yasainokatuyoujyutu.blog86.fc2.com/blog-entry-40.html より引用)

六次産業化とは

一次産業×二次産業×三次産業

メリット

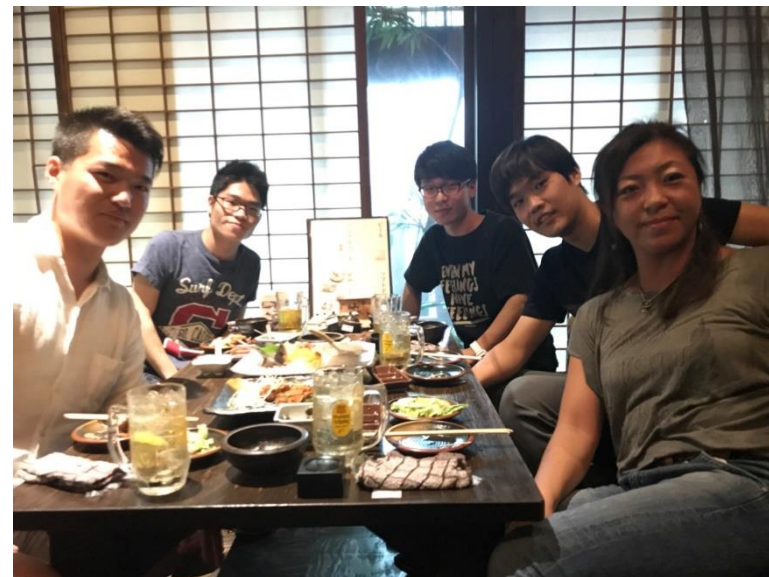
- ・雇用の増加
- ・付加価値をつけられる
- ・風土や伝統文化の保全

- ・デメリット
- ・生産能力が必要
- ・初期費用がかさむ など

実地調査

千葉県茂原市 株式会社 紋七(もんしち)

平成30年 8月11日



千葉県にある地元のお酒を集めて飲食店などの店に出し、生産者と消費者をつなぐ

千葉には知らないだけで美味しいものや酒造りに向いている環境がそろっている。

地方には資源がたくさん眠っている。

北陸農政局

平成30年9月12日

農林水産省が地方に置いた施設

地方には豊富な資源がある。

なぜ六次産業化がすすまないか。

知識不足、資源不足、成功例が少ない



富山県庁

平成30年9月13日

総合化事業計画 県をあげて富山県民の特産物を使った活性化を行っている。

六次産業化プランナー などの活用

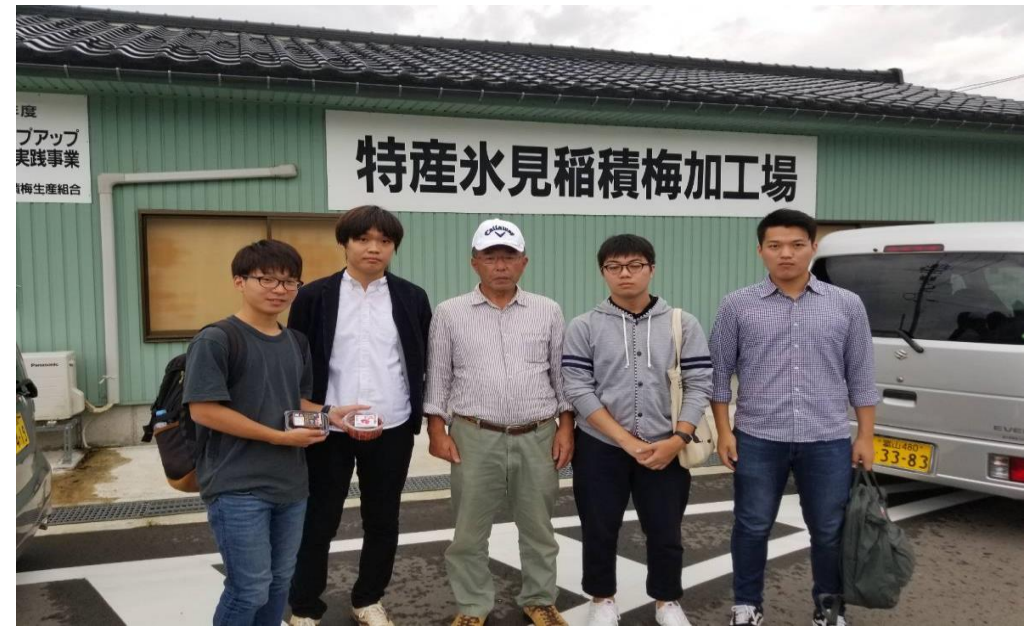
夢、ビジョン、志をもっていることが大切



氷見稲積梅株式会社

平成30年9月13日

梅を使って六次化に成功した。



地元にあった梅をブランド化し、梅みそやチップス、ドレッシングなどにした。

勉強会に精力的に参加し販売経路を拡大するべく多くのイベントに参加。

品質にこだわり、地道に商品を売り続けた。

六次産業化のまとめ

六次産業化はあくまで地方活性化の一つの手段に過ぎない

大きな夢や志を持つことも大切だが、それにふさわしい知識や資源が必要。

特産物は地方を活性化させることができる商品。その強みを理解して、どうやって作りどのように売り込んでいくのかが大切になってくる。

ご清聴ありがとうございました